

## 研究室対抗フットサル大会

日時：平成 23 年 10 月 22 日(土) 13 時開始

場所：名城大学第 1 グランド

賞品：商品券

1 位 3 万円分,2 位 2 万円分,3 位 1 万円分 4 位 5000 円分, 敗者トーナメント 1 位 5000 円分

試合時間: 前半 6 分 休憩 3 分 後半 6 分 計 15 分(予定)



競技者数	5 人
交代	交代ゾーンから自由に何回でも交代可能
プレーの再開	タッチライン ⇒ キックイン(ボールを蹴って入れる)
プレーの再開	キーパー ⇒ ゴールキーパーズロー
オフサイド	無し
チャージ	バックからのボディコンタクトは禁止 ショルダーチャージ、スライディングタックルもファール
GKへのバックパス	今大会では味方キーパーへのバックパスは OK
退場	2 分後に補充可能
タイムアウト	今大会ではなし(ただし明らかな遅延行為はファール)
ボール	4 号球
ファール	ファールが起きた地点から直接フリーキック
シューズ	ケガ防止の為,今大会ではスパイクを履いた選手の出場を禁止する。

### 直接フリーキック

競技者が次の6項目の違反を犯したと判断された場合、直接フリーキックを相手チームに与える

- ・相手競技者をける、またはけろうとする
- ・相手競技者をつまずかせる、またはつまずかせようとする
- ・相手競技者に飛びかかる
- ・相手競技者をチャージする
- ・相手競技者を打つ、または打とうとする
- ・相手競技者を押す

直接フリーキックは、上記の違反の起きた地点から行う。ただし、フリーキックが守備側チームに対してそのペナルティーエリア内で与えられた場合、フリーキックはペナルティーエリア内のいずれの地点から行ってもよい。

### 間接フリーキック

ゴールキーパーが次の項目の反則を犯した場合、間接フリーキックを相手チームに与える

- ・保持していたボールを離れた後、ボールがハーフウーラインを越える前に、または相手側によって触れられるかプレーする前に、味方競技者からボールを受ける
- ・味方競技者によって意図的にゴールキーパーにキックされたボールを手で触れるか手でコントロールする
- ・味方競技者がキックインしたボールをゴールキーパーが直接手で触れるか手でコントロールする

競技者が次の項目の違反を犯したと主審が判断したときも、違反の起きた地点から行う間接フリーキックを相手チームに与える：

- ・危険なプレーをする
- ・ボールをプレーしていないとき、意図的に相手の前進を妨げる
- ・ゴールキーパーがボールを手から離すのを妨げる

間接フリーキックは、違反のおきた地点から行う。ただし、その地点がペナルティーエリア内の場合、違反の起きた地点に最も近いペナルティーエリアライン上から間接フリーキックを行う。